

古谷 眞司 議員 … 2件の一般質問

安心して子育てが出来る町について



町長：放課後児童クラブの拡充を進めていく

古谷 放課後児童クラブについて、町長に伺う。

①東小学校の今後の見通しについて。

②北陽小学校区以外は、小学校の空き教室を利用しているが、空き教室が生徒数の変動により確保ができない等で、受け入れ学年を制限しなければならぬ状況が現在も続いている。今年度はよくても、来年度はわからないような状況だ。抜本的な対策が必要ではないか、見解を伺う。

また、支援員や教員の不足等もあるということ、それに対する対策についても伺う。

③俱知安中学校における教員加配について、教育長に伺う。

俱知安中学校では、3年生において1名の町単独での教員加配がなされ、4クラスを維持している状況だ。来年度は、新2年生4クラスが維持できない状況になる可能性がある。継続的な政策が子育ての安心に繋がるが、今後の指導体制の整備について、教育委員会の考えを伺う。

町長

①東小学校においては、支援員の増員の確保がされておらず、現在3名の児童が待機している状況。東小学校の今後の見通しは、時期的なことについては断言することはできないが、補助教室の確保ができたことから、引き続き支援員の募集を行い、態勢が整いつて行く。

②児童数の増加、特別支援学級や習熟度別学級の増加により空き教室の確保が難しい状況も懸念される。場所の確保については、学校内の教室が難しいのであれば、例えば近隣の空き住宅等の借り上げや施設の建設等が考えられる、別の箇所に児童クラブを確保する場合は、資格を持った支援員が必要となる。

資格を持った支援員の募集、また補助支援員の研修等への受講を働きかけ、資質の向上と人材の育成を図り、人員の十分な確保を行った上で募集の状況を見ながら、また利用実態を踏まえて支援員の確保と空き住宅等の利用を考慮し、来年度も引き続き今年度同様の対応をとりながら、受け入れ態勢を整えて行く。支援員の不足に対する対策は、具体化されていないが、例えば賃金体系の改善や資格手当などの手当的な事項について検討を図っている。

教育長

③新2年生は、入道の施策により35人学級が適応され4学級だったが、2年生への進級時には、通常の40人での学級編制が適用されることから、1学級当たりの人数で見ると38名前後での学級編制となるのが想定されている。



今定例会の行政報告でも申し上げたが、子どもたちへの指導においては、ティーム・ティーチングや習熟度別によるきめ細かな学習指導と合わせ、加配教員や学習支援員の配置によるきめ細かな指導体制をとることが、学

力向上の面ばかりではなく、生徒指導等の面でも大変効果があると考えている。

ただ、町費による教員の任用には、経験年数等にもよるが、一人当たり450万円前後、学習支援員で一人110万円程度の予算を要することから、これから行われる来年度へ向けての予算編成などにおいて、教員の配置等についても町長部局と十分協議をしながら、取り組みたいと考えている。

機構改革の成果は

古谷

①機構改革として、部長制を廃止し、課長制を実施している。その成果を伺う。

②副町長2名体制が機構改革の柱ではあると考えるが、今まで副町長2名

体制は実現されていない。2名体制についての今後について、見解を伺う。

町長

①従前の部長制においては、庁内の幹部会議として部長会議を位置づけ、指示、伝達事項などについても組織上、部長の段階でワンクッションがあったものの、現在の課長制では、現場の担当者へよりスピーディーな伝達が可能となり、また、担当からの報告、協議事項についても迅速な対応処理ができる執行体制が確立されたものにとらえている。

②二人目の副町長については、平成28年度に引き続き、国における地方創生人材派遣制度に基づく派遣希望を11月2日付で提出している。